

とくノしま 世界自然遺産ガイド



世界遺産ってなんだろう？

世界遺産は、人類共通のかけがえのない財産として将来の世代に引き継ぐべき宝物であり、世界遺産条約に基づいて登録された自然地域や遺跡などのことです。自然遺産、文化遺産、複合遺産の3種類があり、全世界で1,248件(2025年7月時点)が登録されています。

自然遺産

保存・鑑賞・学術上重要な世界的価値を持つ地形、生態系、生物多様性などがあ
る地域。

(例：屋久島、グランドキャニオンなど)



文化遺産

歴史・芸術・学術上重要な世界的価値を持つ記念物、建築物群、遺跡など

(例：厳島神社、ピラミッドなど)



複合遺産

自然遺産と文化遺産の両方の要件を満たしているもの

(例：マチュピチュ、タスマニア原生地域など)



なぜ徳之島が世界自然遺産に？

徳之島の面積は日本全体のわずか0.07%程度ですが、日本列島の中でも生きものの生息種数が多いところです。またオビトカゲモドキやクノシマトゲネズミなどの、ここにしかない種も生息しています。徳之島を含む4地域「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は生物多様性が評価され、2021年7月、世界自然遺産に登録されました。

徳之島は熱帯と温帯との間の、亜熱帯と呼ばれる緯度にあります。世界の亜熱帯地域には砂漠のような乾燥地帯もありますが、徳之島は海と季節風のおかげで雨の多い気候となっています。こうした気候が常緑広葉樹の森を育て、そうした森が多く生きもののすみかとなっています。

徳之島の森は、スダジイ林を中心とする常緑広葉樹から構成されています。また、特徴的な板根を持つオキナワウラジロガシの群落が各地の谷間にみられることも特徴です。徳之島では、森の面積は限られ、畑などがすぐそばまで迫っています。また、人の生活圏でも希少な野生動物を見ることができると、自然との距離が近いという特徴があります。



オビトカゲモドキ



トクノシマトゲネズミ

徳之島の世界自然遺産区域

徳之島は島全体の約10%が世界自然遺産区域に指定されており、4地域「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」のなかで、徳之島だけ2つの区域に分かれていることが特徴です。



世界自然遺産を学ぶ

徳之島世界遺産センター

徳之島の遺産価値や自然の魅力を深く知ることができます。初めて徳之島にお越しの際は、まずこちらを訪れてはいかがでしょうか。



入館料 無料

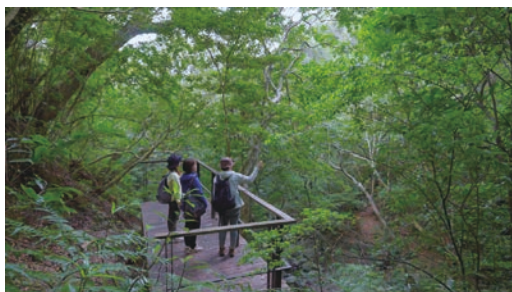
開館時間 9:00～17:00

休館日 平日火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

〒891-7425
鹿児島県大島郡徳之島町花徳2206番地
TEL:0997-84-0726 FAX:0997-84-0727
E-mail:info@tokunoshima-whcc.jp



世界自然遺産を感じる



日中に自然観察

徳之島には楽しめるスポットがたくさんありますが、「山クビリ線」など、奄美群島認定エコツアーガイドの同行が必要な場所もあります。安心・安全かつ、徳之島の魅力をより深く知るためにも、エコツアーガイド同行のエコツアーがオススメです。



インターネットで「徳之島 エコツアー」などと検索いただくと、様々なガイド事業者を見つけることができます。お好みのプランでエコツアーを楽しんでみませんか。また、奄美群島認定エコツアーガイドについては、右のQRコードよりご確認ください。

※奄美群島認定エコツアーガイド…奄美群島の自然や文化、ガイド技術、安全管理、環境保全などに関する認定講習を修了しており、基本的な心構えや知識等を備えたエコツアーガイドです。



認定ガイド一覧

徳之島の自然を楽しもう!

01 服装・持ち物

安全に自然を楽しむために、気温や周囲の状況の変化などに対応できる服装や持ち物を用意しましょう。日ざしが強いので帽子や長袖が必須です。山ではハブや害虫がいるのでサンダルは控えてください。



水筒



ポイズンリムーバー



救急セット



虫除け



携帯電話



02 危険な生き物

猛毒を持つハブに注意!

徳之島には猛毒をもつハブが生息しています。草木の陰に隠れていることが多く、夜間に活発に活動します。道の中央を歩き、不用意に草むらに入らないようにしましょう。ハブは体長の約半分が攻撃範囲といわれています。もしハブを見つけたら、1.5m以上離れましょう。

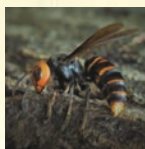
※その他蛇類やハチ類、マダニ、ハゼノキにも気をつけましょう。



ハブ

万が一のことがあったら…

- ◆ 身近にいる人に助けを求め、安静を保ちましょう。
- ◆ 119番へ連絡して病院に行き、医師の処置を受けましょう。



ハチ



マダニ



ハゼノキ

03 徳之島の動植物

徳之島では希少な動植物を守るために法律や条例で厳しい規制がかかっており、種によって捕獲・採取が禁止されている場合があります。また場所による規制もあり、特別保護地区内では落ち葉1枚持ち帰れない、強い規制があります。動植物は「見て」楽しみましょう。 ※以下のほかにも採取規制されている種があります。



アマミノクロウサギ

I B類 I類



トクノシマトゲネズミ

I B類 I類



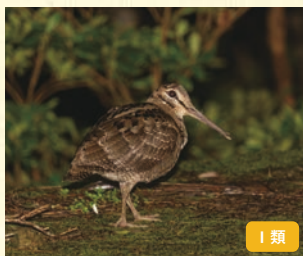
ケナガネズミ

I B類 I類



アカヒゲ

II類 II類



アマミヤマシギ

I類



アマミマルバネクワガタ

II類 I類



オビトカゲモドキ

II類 I類



アマミイボイモリ

I B類 I類



アマミハナサキガエル

II類



トクノシマテンナンショウ

I A類 I類



タニムラアオイ

I B類 I類



トクノシマエビネ

I B類 I類

04 知っておこう！自然観察のマナー

徳之島の自然は絶妙なバランスで保たれています。いつまでも、徳之島の自然に親しんでいけるように、ルールやマナーを守って楽しみましょう。

山や森でのルール

外来種を持ち込まないでください。ペットなどの生き物は放さないようにしましょう。植物の種などを外から持ち込まないように、入山前は靴の泥を落としましょう。

- 登山道や決められたルートを外れないようにしましょう。植物や身の安全を守ることにつながります。
- 2人以上で行動し、特に規制された区域はエコツアーガイド同伴で入りましょう。
- ゴミは持ち帰りましょう。



動植物との接し方

希少野生動植物の捕獲・採取をしないことはもちろん、規制のない種についても、生態系を守るためにむやみな捕獲・採取はやめましょう。

- 動植物を傷つけないようにしましょう。
- 野生動物に餌を与えないでください。
- 野生動物に近づきすぎたり、大きな音をたてたり、驚かせないようにしましょう。



ロードキルを防ぐために

夜間は道路上に野生動物が出てくることもあるため、車との交通事故（ロードキル）が起っています。特に山沿い・畑沿いの道を運転する際は、野生動物を守るための3つの運転を心がけましょう。（希少動物が道路に出やすい場所は、注意喚起看板が目印です）

- 事故多発区間や、カーブ区間での「減速運転」
- 路肩に注意し、早期発見するための「ハイビーム運転」
- 飛び出してくる、目の前にいる「かもしれない運転」



とくのしまに かんもーれ!

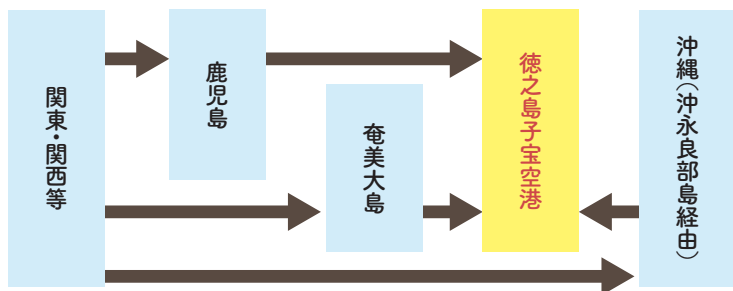
(いらっしやい)



徳之島世界自然遺産
推進協議会ホームページ

飛行機の場合

鹿児島から1日4~5便(約1時間、JAL便)
奄美大島から1日2便(約30分、JAL便)
沖縄から(沖永良部経由)から1日1便(約2時間、JAL便)



フェリーの場合

鹿児島と奄美群島の各島々・沖縄とを結ぶ定期便が1日1便
鹿児島から約15時間、マルエーフェリー・マリックスライン
鹿児島と喜界島・奄美大島などを結ぶ定期便が週5便
鹿児島から約19時間、奄美海運

